



岡本翔平研究室

Shohei Okamoto Lab.

Keywords: health equity; social determinants of health; universal health coverage; health systems strengthening; healthy ageing



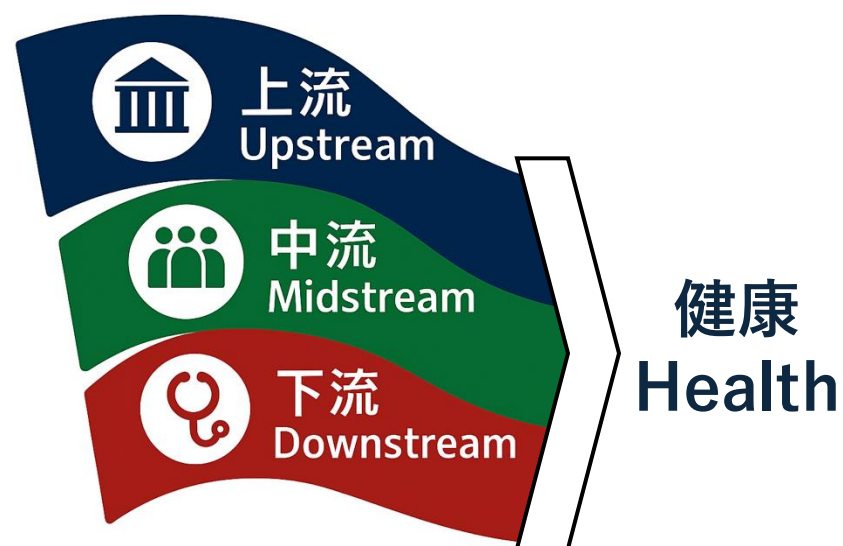
岡本翔平
Shohei Okamoto

研究室の目標：

社会政策、健康政策、医療（健康）経済学分野において、計量経済学などの手法による実証分析から得られた知見を蓄積することで、人々の健康やウェルビーイングの維持・向上に貢献することを目指しています。教員は、主に以下2領域の研究に取り組んでいます。

社会と健康

社会政策と健康の関連性、健康の社会的決定要因、ならびに健康格差に関する実証的な研究に取り組んでいます。人々の健康は、遺伝的要因のみならず、社会との関わりの中で形成されるため、医療・介護や臨床的な介入（＝下流の対策）に加えて、社会全体の制度や構造（＝上流）、および個人を取り巻く社会経済的環境（＝中流）への働きかけも、健康の維持・向上において極めて重要です。教員は経済学を専門としていますが、疫学、公衆衛生、社会心理学、老年学などの分野の研究者と連携し、学際的なアプローチによる研究を推進しています。



Universal health coverage (UHC)

UHCとは、「すべての人が、経済的困難を経験することなく、質の高い、必要な保健医療サービスにアクセスできること」を意味します。これは持続可能な開発目標（SDGs）のターゲットの一つ（SDG3.8）として、国連加盟国が2030年までの達成に向けて取り組むことに合意しています。しかし、UHCの進捗は依然として不十分であり、特にその柱の一つである「経済的困難からの保護」に関しては、モニタリング開始以来、国際的な状況は悪化し続けています。国内外の研究者や国際機関とも共同し、UHCのモニタリング強化、保健医療システム（特に保健財政）強化、そして経済的困難からの保護の改善に資する研究に取り組んでいます。



メッセージ

本研究室では、2026年度より学生の受け入れを開始する予定です。研究においては、論文などの研究成果も重要ですが、それがすべてではないと考えています。博士号取得者が、アカデミア以外でも専門性を活かして活躍する場面が増えています。健康政策や社会政策上の課題解決に貢献したいという熱意を持ち、自ら課題を見つけ、その解決に必要な能力を主体的に磨くことができる、高い意欲を持ったトップレベルの方を歓迎します。英語によるコミュニケーションを含む、高い国際的素養を有していることも望まれます。



WHO本部にて元同僚との写真。